

# もろこし

No.28



初冬の風物詩  
「大根干し」

現在庄内砂丘でも極一部でしか見られなくなつた、たくあん用の大根干しです。漬物の消費量と米の消費量は比例しますのでたくあん漬の消費も年々減つていきます。この風景も近い将来には消滅しているかも知れませんが、今年の干支は馬ですが、暴れ馬のような年にならないように、この写真のような小春日和のような日々が続くことを願つてやみません。

撮影に協力してくれたのは農業委員会との交流会に参加してくれた山形大学の学生さんです。このように、田畑で若い女性の姿を多く見られることを願っています。

年頭のご挨拶

農業政策の転換期に

一致団結を



鶴岡市農業委員会

会長 三浦伸一

明けまして、おめでとうございます。皆様にはご健勝にて新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、春先の天候不順や、7月の断続的な大雨の影響により特産「だだちゃ豆」が平年に比べて生産量が極端に減少するという残念な結果となりました。しかしながら、水稲については庄内地方は作況指数100の「平年並」となります。平成25年度は、国の施策である「人・農地プラン」が、二年目を迎え、本市でもほとんどの地域がプランの作成に取り組み、「青年就農給付金」や

「農地集積協力金」などの支援措置を受けています。

一方、農業委員会をめぐっては、臨時国会において「農地中間管理事業の推進に関する法案」が可決されるとともに、農業委員会のあり方についても議論がなされています。農業委員活動といたしましては、昨年11月の総会において決議した、平成26年度鶴岡市農業振興施策予算に関する建議書をはじめ、国などへの建議、要望など議案7件の提出を行っております。これは農家の皆様の声をまとめたものでもあり、今後とも農業者の代表としての行動を取っていきたいと思います。また「行動する農業委員」を

目指し、農業振興・担い手専門、営農専門、食育・地産地消専門各委員会ともそれぞれ活発な活動を行ってまいりました。農業委員に課せられた任務や役割は年々大きくなり、改めてその責務の重要性を認識して、本年も日々の活動を通して農業者の付託に答えていく覚悟であります。

わが国は円高による経済低迷からの脱却や、グローバル化への対応、未だ傷跡深い東日本大震災と福島第一原発事故からの復興など、まだまだ多くの課題を抱えています。農業をめぐる情勢はTPP交渉、農地中間管理機構の設置、さらには生産調整の廃止や稲作農家への補助金の大幅な見直しなど、我が国の農業は大きな節目を迎えようとしています。委員一丸となり農業関係団体と一致団結して本市農業の振興に向け頑張ります。皆様のご多幸を祈念し新年のご挨拶いたします。

山形県農業委員大会  
開催される  
永年勤続3名受賞

「人・農地プラン」を基本として関連団体と連携して遊休農地の発生防止と解消に向けた取り組みが重要であると感じ強く語りました。

《永年勤続・十五年》  
勤続15年以上の方が、永年勤続委員として本大会において表彰されました。

鶴岡市では、今野喜好委員（大山）伊藤敏一委員（熊出）菅井巖委員（中楯）の3名が、山形県農業会議会長賞を受賞。3名とも、鶴岡市合併以前から大変尽力されてきました。

今後、さらなるご活躍を期待しています。

（農業委員 鈴木 早苗）

10月29日、酒田市民会館希望ホールにおいて、約650人が参加して、県農業委員大会が開催されました。「国益を守れないTPP交渉に反対し持続可能な農業を確立しよう」などの大会スローガンのもと提案された議案は4議案ありました。全ての議案が満場一致で、原案通り可決されました。

第二部では、担い手への農地集積活動、女性や青年農業者等の農業委員登用にについて、そして鶴岡市の富樫会長職務代理者が農地パトロールと遊休農地対策について決意表明をしました。



農業会議会長表彰 おめでとうございます  
今野喜好 伊藤敏一 菅井巖 平成25年10月29日

# 市長へ建議・要望書提出 農業者の生の声を市政に



建議・要望活動は、本農業委員会が毎年行っている非常に重要な活動のひとつです。その活動は農業委員ひとり一人がそれぞれの地区で農業のあり方、課題や要望等現場の声を積み上げたものです。

また、「つるおか野菜いっぱい」で健康増進を図る要望や女性農業者、新規就農者の育成に関する要望について

「国の農業政策も大きく転換していく時期を迎えている。鶴岡市が抱えている問題については、皆さんの意見を踏まえて、鶴岡市の施策に取り組みでいきたい。」と語られました。

11月8日に鶴岡市農業委員会第5回定例会が、農林水産部長、農政課長、農政課主幹、農山漁村振興課長の臨席を仰ぎ出羽庄内国際村を会場に開催されました。

慎重なる審議の結果、7件すべての議案が全員賛成で決議されました。

11月28日には、三浦会長をはじめとする役員5名で榎本政規市長を訪問し、建議・要望書を提出しました。



榎本市長へ建議・要望書を手渡す三浦会長と役員

は、「農業委員会からはいろいろな提案をお願いしたい。鶴岡市でもできる限り支援していく。」とコメントをいただきました。

鶴岡市農業委員会では、農業者の皆さんが意欲と希望を持って農業に取り組める環境を実現するため、今後とも農業現場の生の声を鶴岡市、また県や国へ伝えていきます。

## 鶴岡市長への建議・要望

### ● 平成26年度鶴岡市農業振興施策予算に関する建議書

1. 新たな経営所得安定対策と日本型直接支払い制度の早期の法定化
2. 政府備蓄米を長期的に買い入れる仕組みの構築
3. 青年就農給付金と農の雇用事業について、十分な財源の確保と認定農業者に対する補助制度の充実
4. 畜産経営の安定化を図る支援策や肉類・乳製品の消費拡大
5. 幼稚園・保育園への野菜の苗・種子代の補助の拡充
6. 鳥獣被害の未然防止と猟友会等の有害鳥獣駆除の体制づくりに必要な予算の確保
7. 農業委員研修の継続と事務局体制の充実

### ● 「つるおか野菜いっぱい」で健康増進を図る要望書

1. 市民の健康維持のため、バランスのとれた食事と野菜をもっと食べる習慣が定着するような取り組みの実施
2. 子どもや大人向けの年代に合わせたパンフレットの作成や広報等による啓蒙活動の充実

### ● 女性農業者、新規就農者の育成に関する要望書

1. 女性農業者、新規就農者の情報交換会等交流の場の検討

## 内閣総理大臣・農林水産大臣への建議・要望

- TPP（環太平洋連携協定）断固反対に関する建議書
- 安定的な担い手確保に向けた農業施策の確立を求める要望書
- 農地の利用権と抵当権等に関する要望書
- 中山間地域における農地保全対策に関する要望書

詳しくは農業委員会  
ホームページをご覧ください。